

# 令和5年度 府中市立白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声と文字との結びつきには個人差があり、音読では、1文字1文字を追って読んでいる児童もいる。</li> <li>助詞や拗音、促音、撥音、長音を正しく書くことを課題とする児童が多い。</li> <li>語彙量や読書経験に個人差があり、文章内容に興味をもって正しく読み取ったり、考えをもったりできない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉のまとまりを意識しながら音読する場を設定する。</li> <li>既習の平仮名、漢字、片仮名を日常の中で正しく使うように指導し、書いた文を声に出して読むことで、確認できるようにする。</li> <li>単元に合わせた本を手にとれるような場や時間など、環境を整備する。場面の様子に着目したり、登場人物の行動を具体的に想像したりできるような発問を設定し、考えを交流する場を設ける。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1～10までのものの数を数えること、数字を書くことがまだ定着していない児童もいる。</li> <li>1～10までの数のたし算・ひき算の計算はできるが、多くは念頭での計算はまだ難しく、指やブロックなどの具体物を補助的に使っている。</li> <li>文章問題では、文意を正確に読み解き、演算決定をすることが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内や家庭学習、朝学習の時間を利用し、プリントや算数カードを使って、素早く正確に計算できるように習熟を図っていく。</li> <li>文章問題は、児童が想像しやすい具体的、日常的な場面を設定し、絵や図を利用することで文意を捉えられるようにする。</li> <li>立式の根拠を都度確認し、演算決定が正確にできるように促す。</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の世話など継続した活動をすることが苦手な児童がいる。</li> <li>自分なりに予想したり、工夫したりしながら試すことが苦手な児童がいる。</li> <li>自分の思いや、感じ考えたことを表現することが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会や帰りの会などを活用し、教室環境を整えたり、交流する場面を作ったりする。</li> <li>試行錯誤や繰り返す活動、伝え合う場や振り返る活動を多く取り入れる。</li> <li>相手意識や目的意識をもたせながら表現する場面を計画的に取り入れる。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌うことが好きな児童が多いが、楽器の使い方や技能については個人差がある。</li> <li>自分の思いをもったり、友達のよさに気付き取り入れたりすることが難しい。</li> <li>歌詞の意味を考えたり、場面を想像したりしながら表現することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>範奏を聴いたり、楽器の音色、リズム、速度、強弱などに気を付けたりしながら繰り返し練習するようにする。</li> <li>互いに声を聴き合ったり、歌いながら確かめ合ったりする活動を多く取り入れる。</li> <li>音楽に合わせて体を動かしたり、感じ取ったことや気付いたことを伝え合ったりする。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的な児童が多い一方で、自由表現に抵抗があり、作品に表すことに躊躇する児童もいる。</li> <li>クレパス、絵の具、はさみなどの用具に十分に慣れておらず、表し方を工夫することが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な例を示したり、他児童の作品を見る時間を設けたりし、児童の発想を引き出す。製作できていることをほめ、自信をもてるようにする。</li> <li>表現の効果に気付けるように、用具の基本的な使い方を実際に見せる。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合・整列は、指示を聞き行動することに時間がかかる児童もいる。</li> <li>運動経験に差があり、慣れない運動に躊躇して、なかなか取り組むことができない児童がいる。</li> <li>水泳では、顔を付けることが難しい児童がいる一方で、蹴伸びまでできる児童もいて、差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合・整列を継続して習慣を付けさせる。</li> <li>今後も様々な活動を経験させることで、体を動かす楽しさを味わわせる。</li> <li>児童同士で運動を見合ったり、アドバイスなどを伝え合ったりする活動を取り入れ、互いの良さを認めながら学び合えるよう指導する。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>習得した漢字や語句を話や文章を書く際に使うことが難しい。</li> <li>友達の考えを聞いて受け止め、自分の考えを比較したり改めたりする経験が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する中で、漢字の読み方や語句の使い方に慣れていく。また、語彙を増やしたり文章中での使い方を習得したりするように、読書活動を積極的に取り入れる。</li> <li>グループで話し合う活動を行う。その際、友達の考えを聞いて、相槌を打つよう促したり、考えを比較して話す話型を示したりする。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量感覚が十分でないため、解答が大きすぎた解答であっても、疑問を抱かない場面がある。</li> <li>ものさしなどの用具が自在に使えていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おおよその数量の感覚をつかむため、具体物に触ったり、具体物をイメージしたりする場面を設定する。</li> <li>授業中の課題や宿題で練習を繰り返し行い、使い方を徹底する。</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の栽培や身近な動植物に関心をもっている児童がいる半面、虫が苦手などで自然にふれあうことが難しい児童もいる。</li> <li>植物の栽培では、授業時以外にも登校時・休み時間など時間をみつけて観察や世話ができる児童もいるが、継続した関わりをもちにくい児童がいる。</li> <li>地域との触れ合う活動では、見たり聞いたりした後にフィードバックする活動に差がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で意欲付けをするのはもちろん、朝の会などで積極的にかかわっている児童を紹介し、楽しい雰囲気を作り、意識を持続できるようにする。</li> <li>見るポイントやメモの取り方を助言し、振り返ることができるようにする。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>のびのびとした声を出す経験や技術が足りない。</li> <li>楽しく表現できているのか（歌えているのか）が見とれないことが多い。（どちらもコロナのマスクの影響もある。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どちらの課題に対しても、体を動かしながらリズムを感じ取る活動や、一音だけを長くのぼしたり、いろいろな高さで遊んだりする音遊びを取り入れ、声を出す面白さを感じ取れるようにする。</li> <li>視覚的に音の高低を確かめたり、音の高さを手の動きと関連付けたりする活動を取り入れて、歌唱の技術を身に付けさせていく。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>偶然の形から思いついたものを表すことが難しい児童がいる。</li> <li>クレパス、絵の具、はさみなど用具に十分に慣れずに、表し方を工夫して表すことが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作できていることをほめ、会話を通し、児童の発想を引き出す。</li> <li>鑑賞の時間を設定し、良さを味わわせ、自分の作品に生かす意欲がもてるようにする。</li> <li>用具の基本的な使い方を実際に見せ、表現の効果を感じられるようにする。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りがよく見えず、安全を大切にできていない児童がいる。</li> <li>個人の力を伸ばしつつ、集団の中での役割、協力などの力を付けていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールや約束がなぜ必要なのかを、適時指導していく。</li> <li>ルールや場、用具を工夫し、様々な運動を経験させることで体を動かす楽しさを味わわせる。</li> <li>互いのよさを認め合い、学び合えるような時間を設定する。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習漢字の読み書きが定着していない児童の割合が多い。</li> <li>自分の考えや思いを発言する児童が特定化され、個の考えを広げることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な小テストを実施することにより、習熟度を高める。</li> <li>ワークシートを活用し、他の児童の思いや考えを見る機会をもつことで、自分の思いや考えを広げられるようにする。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻と時間についての理解が不十分である。</li> <li>かけ算（九九）の既習事項が不十分な児童が多くいる。個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活と結びつけて時刻と時間の概念の違いについて考える機会をもつ。</li> <li>授業開始時に3分間程度「タイムトライアル」として、計算練習を行う時間をもつ。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト問題の読み取りが不十分なこと、読解力が身に付いていないことによって、誤答が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科の知識だけでなく、問題文で何が問われているのかをしっかりと読み取ることも練習問題やまとめ問題で行っていく。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や写真などの資料を読み取る力に課題がある児童が多い。</li> <li>読み取った内容を言語化して解答することが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図帳の活用など、地図に触れる機会をもち続ける。</li> <li>新聞づくりや発表など、自身の経験したことや考えを学んだ内容を生かして表現する機会をつくる。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>集中力が続かず、話をしっかりと聞き、活動内容を理解することが難しい。</li> <li>器楽における基礎的スキルを身に付けるために時間かかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要点を絞って活動内容を提示し、わかりやすい授業となるように掲示物、ICTの活用等工夫する。</li> <li>継続した学習と個別の指導を大切にする。身体表現を取り入れのびのびと演奏できるようにしていく。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品づくりに集中して取り組める児童が多い反面、丁寧さや粘り強さに課題がある児童もいる。</li> <li>材料を粗末に使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>納得いく作品ができるまで、最後まで力を尽くして取り組めるよう声掛けや指導を引き続き行う。</li> <li>必要な分だけ使う。余ったものは元に戻す。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かす活動には、意欲的に参加できる児童が多い。</li> <li>課題意識をもって運動に取り組むことや、めあてや作戦をもってゲームを行える児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術指導の際にはポイントを絞って声掛けを行う。</li> <li>友達と話し合う時間や振り返る時間を設け、考えて活動に取り組めるよう促す。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の学習では、苦手意識をもっている児童が多い。</li> <li>物語について読む活動では、進んで学習に取り組む児童がいる一方で、自分の考えに自信がもてず、書くことが難しいと感じている児童もいる。</li> <li>説明文では、筆者の考えや構造の読みを把握することに苦手意識をもつ児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し漢字の学習を行い、正しく、正確に書けるようにする。</li> <li>国語辞典や言葉の宝箱を使って、言葉に興味をもち調べる活動を設定する。</li> <li>自分の考えをもてるように、相手の考えをよく聞き、共感したことをまずは書けるようにしていく。</li> <li>朝学習の時間に、対話の練習を継続して行き、自分の考えを表現できるようにする。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎基本的な学習事項の理解が不十分な児童が多く、四則演算を正確に行えない児童がいる。</li> <li>思考力・表現力に個人差があり、論理立てて考えることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り上がりや繰り下がりをしっかりかくよう指導し、九九はタブレットの100ます計算を活用して復習する。</li> <li>ペア学習などで友達に考えを説明する機会を増やす。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体験から予想することについて、個人差がある。</li> <li>結果を関係付けて考え、考察することについては不十分な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな体験が予想につながるのかを学級で共有し、予想を立てやすくする。</li> <li>実験をする前に、結果の予想「～だったら、～になる。」を立て、関係づけて考えられるようにする。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県の場所や漢字を覚えることには積極的だが、習得には個人差がある。</li> <li>「ごみの処理と活用」の学習では、資料の読み取りはよくできていたが、地域社会の一員としてごみの処理や再利用について自分の考えをもつことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に都道府県テストを行い、個人の理解度を確認し、不足している児童に対して振り返りを行っていく。</li> <li>どの単元でも、自分の考えを書く機会を増やしていく。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>声を重ねることはできるが、相手の声部を聴きながら歌うことは難しい。</li> <li>リコーダーや打楽器を楽しんで演奏しているが、基本的な知識や奏法が身に付いていない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハーモニー作りを意識しながら、2パートで歌う経験を増やす。</li> <li>児童同士の学びあいの場を設けるとともに、声の出し方を意識した指導を重ねながら、安心して声を出したり演奏したりする雰囲気作りに努める。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく発想し工夫しながら、意欲的に制作に取り組める児童が多いが、多様な材料や環境に体全体で関わり、のびのびと表現できない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>のこぎりや彫刻刀などの用具の安全な扱い方を学び、自分のイメージしたものを表現する技能を高めながら、思いに合わせた表現方法を試す時間の十分な確保、場の設定を工夫する。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動技能の個人差がある。</li> <li>技能のポイントを知り、友達に伝えたり、学習カードに分かったことを表現したりすることに課題がある児童が多い。</li> <li>自分の課題にあった場を選ぶ経験が少なく、課題解決能力に課題がある児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループ活動を通して協働的な学びから技能を高める学習の流れを設定する。</li> <li>技能のポイントやコツを聞き、全体で共有したり、板書したりして思考する時間や活動を増やす。</li> <li>自分の課題にあった場を選べるスモールステップの場を設定する。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）  
第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物語文の文脈をたどることが苦手で、情景や会話文から登場人物の心情を捉えることに難しさを感じる児童が多い。</li> <li>○説明文の内容の組み立ての理解や、自分の考えを順序立てて説明することを苦手としている。</li> <li>○語彙が少なく、思ったことや考えたことを表現豊かに書き表すことを苦手としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物語のあらすじや比較的読み取りやすい心情を明らかにし、発問を通じて、その心情の変化を細かく捉えられるようにする。</li> <li>○考えの組み立て方についてフローチャートなど図を用いて理解し、ノートに考えを書かせ、順序立てて意見を述べられるようにする。</li> <li>○教科書の巻末の「言葉の宝箱」に記載されている言葉を使った文を作る練習を通して、語彙を豊かにする。課題に対して具体的な授業改善策を3点程度にしぼって記載する。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実態調査より、「算数まとめテスト」では、90点以上が65%であり、基礎基本的な学力が十分とは言えない児童が一定数いる。そのため、各個人の基礎学力の向上が必要。</li> <li>○文章問題などの課題に対する苦手意識が全体的に高いため、思考力・判断力の向上が重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○視覚で理解できる教材の工夫や問題の難易度の検討などを行い、児童の実態に合わせ、個に応じた授業を行う。また、基礎的、基本的な学習を反復し、計算を素早く正確に解答できるように指導していく。</li> <li>○問題を視覚化（図やグラフ）にする方法を指導し、問題を適切に把握できるようにする。</li> <li>○児童の生活に関連付け、課題に取り組みやすくする。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験計画を考えるにあたり、条件制御について正しく整理することが難しい。</li> <li>○生き物のからだの仕組みについて正しく分類することに個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○条件項目について選択肢を設け、段階的に自ら選択できるよう学習を進める。</li> <li>○デジタル教材を活用し、視覚的に分かりやすく、個別最適な学習の時間をより多く取り入れる。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地図帳や地球儀などを活用し、世界の国々や我が国の位置を多面的に把握すること。</li> <li>○社会的現象について、資料やデータを基に細かい数値まで正確に読み取ること。</li> <li>○社会に見られる課題の解決に向けて考えたことを説明したり、それらを基に議論したりすること。</li> <li>○学習したことを他教科や日常生活につなげること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的に地図帳を活用し、今学習している地域の場所や特色等を把握できるようにする。</li> <li>○資料を読み取る際、各項目の数値や違いなど、様々な視点について投げかける。</li> <li>○資料から読み取ったことを生かして考え、グループで話し合ったり、書いたりする活動を増やす。</li> <li>○課題解決の際、既習事項を生かすことができないうか考える場を設定する。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽における基本的な知識理解を広げたい。さらに友達と音楽を作る楽しさ、喜びを味わわせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアやグループになり、自分の表現に生かせるようにする。</li> <li>○鑑賞の学習でも、曲のよさやおもしろさを感じ取り、音楽表現の幅広さを楽しむ態度を育てる。</li> <li>○自ら創作した曲や練習した曲を発表することで、達成感を味わわせ、意欲につなげる。</li> <li>○友達を考えや思いを知ることで自らの学びにつなげていくようにする</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に創作することができている児童が多いが、集中力が持続しない児童もいる。楽しく発想しながら制作できているが、深く自分の表現にこだわるができている児童も多い。</li> <li>○電動糸のこぎりなどの道具の技術面で個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人の持ち味を認める声掛けや友達の作品を鑑賞し多様な表現方法を認め合う場の設定をしながら意欲の持続力をのばす。試行錯誤ができる展開や場の設定、材料の提示などを工夫する。</li> <li>○技術の習得のため、道具の使い方や安全指導のわかりやすい実演や提示、ポイントの確認、友達同士で教え合うなど工夫する。</li> </ul>		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識や技能に差がある。</li> <li>○実生活で活用する機会がない。</li> <li>○技能は意欲的に習得しようとしているが、知識を身に付けることを苦手としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実技示範や動画視聴で、イメージをもたせる。</li> <li>○生活に生かせる活動を行う。家庭でも課題に取り組むよう促す。</li> <li>○物の名称や使い方などを問うワークなどに適宜取り組ませるようにする。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動に対する興味・関心は高い。その一方で、児童が苦手と思う器械運動などの競技には参加意欲に差がある。</li> <li>○自分の課題を見つけ、工夫して運動に取り組めない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT機器を活用し、自分の運動の様子を客観的に確認し、課題を知る機会を作る。</li> <li>○技能を習得するための場の工夫、ポイントや補助の仕方を提示する。</li> <li>○グループ学習に取り組ませ、友達同士で教え合う場面を設定する。</li> <li>○学習の習得状況を適宜確認し、児童自身が学習計画を修正できるようにする。</li> </ul>		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習したことを会話の中で使うこと。</li> <li>○外国語への興味・関心を高め、自分の思いを発信すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学んだフレーズを自分から使おうとする場面を継続的に設定し、会話を促す。</li> <li>○外国の言葉や文化に触れ、日本の言葉や文化との相違点に着目し、外国への関心を引き出す。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話を聞く姿勢については身に付いているが、内容を理解し、自分の考えをまとめることに困難を感じている児童が多い。</li> <li>○語彙が少なく、自身の考えを豊かに表現することに難しさを感じている児童が多い。</li> <li>○自分の考えを順序だてて説明したり、文に書き表したりすることを苦手としている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話を聞く際にメモをとる習慣を付けさせ、その中から要点を見つけて自分の考えを書く時間を設ける。</li> <li>○「言葉の宝箱」を利用し、その学年で身につけたい語彙の習得を図る。</li> <li>○タブレットなど、考えを自由に組み替えられるツールを使い、相手に伝わりやすい話の順序を視覚化してとらえられるようにする。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図形の意味や性質を理解し、角の大きさや特徴を答えることが苦手である。</li> <li>○小数のわり算で、筆算の中で小数点の移動や打つ位置が分からない児童がいる。</li> <li>○文章から立式する際、かけ算かわり算か迷っている児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図形の授業の中で、繰り返し図形の特徴を確認していく。</li> <li>○家庭学習や朝の時間等を使い、繰り返し計算する。</li> <li>○問題文を図や数直線に表してから立式できるようにする。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動物のからだの働きについて、名称と働きを正しく説明することが難しい。</li> <li>○実験結果について実験の目的を考え答えることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル教材を活用し、視覚的に分かりやすく、個別最適な学習の時間をより多く取り入れる。</li> <li>○実験の目的から結果のつながりが明確になるよう、学習全体の見直しをもたせる。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料から事実は読み取れるが、その事実からどのようなことが分かるかということを思考し、表現することが苦手である。</li> <li>○複数の資料を関連付けて問題を解決することが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料から読み取ったことをもとに、何が分かるのかを考える時間を設定する。</li> <li>○資料の見方について、どんな資料からどんなことが言えるのか、自分の考えはどの資料で根拠付けられるのかを意識した問いかけを行い、資料活用能力を高める。</li> <li>○複数の資料を提示する場合は、それぞれが何の資料なのかを押さえた上で比較、検討できるようにする。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的に表現する児童もいるが、個人差があるため、全体的な学習意欲を高めることが必要である。</li> <li>○器楽を演奏する際に、音に対する意識が低い児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○演奏発表する場を設けることで、他の人の演奏を聴くことの大切さと、その良さを自分の表現に生かそうとする態度を育てる。</li> <li>○合奏において、自分や周りの音に集中し、メロディーやハーモニーなどを意識した演奏を目標に取り組ませる。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>○造形活動に関心をもって、意欲的に制作に取り組める児童が多いが、集中が続かない児童もいる。</li> <li>○進度の個人差があり、制作時間内に作業が終わらない児童がいる。</li> <li>○今まで学んだ技法や材料、表し方を表現したいことに合わせて活かしながら表現できる児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集中して取り組めるような題材の工夫、場の設定、見直しをもたせ計画的に進められるよう指導を工夫する。</li> <li>○時間内に計画的に制作できるよう見直しをもたせる見本の提示や図工ノートの計画表を活用し毎回の授業での確認などを行う。</li> <li>○今まで学んだ技法や材料などを自分の表現したいことと合わせて選択できる題材、場の設定を工夫する。</li> </ul>		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート等に、実生活で感じたことや疑問に思ったことを書くことができない児童がいる。</li> <li>○ミシンや調理実習等、実践的な活動で消極的な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで話し合い、友達の意見を取り入れながら、自身の経験をワークシートに書くことができるようにする。</li> <li>○児童同士で互いに教え合ったり、役割分担で全員が活動できるようにしたりする。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育の学習に熱心に取り組む児童が多い。一方で、自分の課題からめあてを立て、解決することを苦手とする児童もいる。</li> <li>○技能のポイントを知り、友達に伝えたり、学習カードに分かったことを表現したりすることを苦手とする児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のめあてに応じた課題解決の仕方を紹介し、学習の進め方や取り組み方を知って主体的に運動に取り組めるようにする。(学習カードの工夫をする。)</li> <li>○グループ学習を取り入れ、ICT 機器を活用しながら、友達同士で教え合う場面を設定する。</li> </ul>		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヒアリングの力はあるが、スピーキングになると発音などに自信がもてず、活動にも積極的になれない児童がいる。</li> <li>○学年の約半分の児童が、アルファベットの書きとりが不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャンツや歌など、聞いた直後に自分で発音する活動を増やし、スピーキングの力をつける。</li> <li>○授業時間だけでなく、朝学習の時間等を使い、週に1回はアルファベットの小テストで反復練習を行う。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。